



学校ブログ



# 川里中だより

学校教育目標 ～自分を磨き 未来を拓く生徒の育成～

<https://kawasato-j-konosu.edumap.jp/>

令和8年4月8日

第 1 号



校長 二瓶 亮

## 自分を磨き 未来を拓く川中生

暖かな春の日差しに迎えられながら、令和8年度がスタートしました。私は本校2年目となりました校長の二瓶 亮 (にへい まこと) です。本年度も教職員と共に、学校の主役である川中生の笑顔と感動があふれる学校作りを、保護者の皆様、地域の皆様からの御支援、御協力を得ながら進めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

さて、春は新しい出会いに期待が膨らむ季節です。中学校には新入生が期待と不安を抱えて入学してきます。そして、2年生、3年生に進級した生徒たちは新たな目標を胸に、前向きな気持ちと程よい緊張感を持ってスタートを切ります。本日87名の新入生を迎え、新2年80名、新3年生73名 合計240名の生徒たちと34名の教職員で67年目の川里中学校が始動しました。入学・進級にあたり、生徒たちは一人一人が新たな決意や夢を抱いていることと思います。その思いを実現するために自ら行動する、仲間と磨き合う、周りから応援される川中生となるよう、これからの学校生活を充実させて欲しいと願います。

そんな川里中学校での学校生活の指標となるよう、これまでの学校教育目標を以下のように替え、目指す生徒像も以下のように設定しました。

学校教育目標 『自分を磨き未来を拓く生徒の育成』

目指す生徒像 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○健康な生徒



現在の川中生が活躍する10年後、20年後の社会は見通しが立てにくく、予測不能であるといわれています。このような社会を、自分らしさを発揮して格好いい大人になって生きていくためには、これまでの常識にとらわれず、物事を多角的に見たり、様々な視点から考えたりする力が必要です。また、多様性が求められる社会の中で、他者と協働して正解のない課題に対して、根拠に基づく納得解を生み出す力も必要とされます。そのような将来を見据えながら時代のニーズに応える教育活動を展開していく川里中学校となるために、新たな学校教育目標を設定しました。本校では、自ら課題を持ち、仲間と協働して探求する経験を積みながら、自分を磨き、自らの未来を切り拓く生徒になって欲しいという願いを込めて教育活動に取り組んでいきます。

当然ですが、主役となる生徒たちにその気持ち、行動力がなければ、この学校教育目標は絵に描いた餅になってしまいます。川中生には目指す生徒像に掲げた大切な3点を意識した学校生活を送って欲しいと思います。また、中学校には様々な考え方、意見を持った生徒たちが通ってきます。思い通りにいかないことの方が多いです。しかし、新しい仲間や新しい先生たちとの出会いは、きっと生徒たちにとって新しい変化や成長をもたらしてくれることでしょう。**期待と不安**。その気持ちも大切にして、互いに磨き合い、高め合いながら自分を成長させ、仲間とともに67年目の川里中学校の歴史を紡いでいってほしいと思います。

私は、校長として、「**学校の主役は生徒であり、学校は生徒たちが将来生きていく上で必要な力を育んでいく場所**」という学校の原点に帰り、自らの力で未来を拓く生徒の育成を目指して本校の教職員の力を結集し「共通行動」をキーワードとして、全力で学校経営を行っていきます。保護者、地域の皆様、今後ともより一層の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。